

# 環境大臣賞(3件)

## 環境大臣賞

「事業所・地方公共団体等」分野

受賞者名  
**日本製紙株式会社**  
**特定非営利活動法人エコライフはままつ**

取組の実践場所  
**静岡県浜松市**

受賞テーマ  
**浜松市における使用済み紙製容器リサイクル事業**

通常、食品容器として使用された紙の多くは汚れや臭いの問題から一般ごみとして焼却処分されている。受賞者は、表面にポリエチレンラミネート加工が施された紙容器を、一般消費者のリサイクル意識向上、可燃ごみ削減と木質資源としての炭素固定推進を目的として、日本製紙の古紙リサイクル技術により、紙が本来持つリサイクル性を活かした資源として利用する取り組みを実施した。

**◆事業内容**

1. 事業主体：

- ・主催 日本製紙株式会社
- ・共催 浜松グリーンウェブ株式会社
- ・企画運営 特定非営利活動法人  
エコライフはままつ
- ・後援 浜松市

2. 期間：2021年4月1日～現在。2024年3月31日まで活動継続予定。

3. 活動範囲：静岡県浜松市全域（浜松市西部清掃工場の環境啓発施設「えこはま」（以下、えこはまとして記載）及び収集協力をしてもらえる学校・民間企業・金融機関等）

4. 回収対象：使用済み紙製アイスクリームカップ、紙製ヨーグルトカップ、紙コップ

5. 方法：使用済み食品用紙容器を、市民により“洗って、乾かして”→収集ボックスへ投入

6. 実務：えこはまに収集ボックスを設置し、来場者へのリサイクル啓発、容器の収集を行う。  
(エコライフはままつが実施)

7. リサイクル引受工場：日本製紙株式会社 草加工場（埼玉県草加市）・・・破砕処理後に搬入

8. 再生物：段ボール原紙

＜使用済み紙容器収集フロー＞

**◆独創性・先鞭性**  
牛乳パックを“洗って”“開いて”“乾かして”収集し、製紙原料として再利用することは以前から行われていたが、今回同様の取組を浜松市内の一般家庭に協力をしてもらい、使用済み紙製容器で初めて実施した。

**◆啓発活動**

- ・浜松市西部清掃工場の工場見学者に向けた啓発活動、特に市内小学校4年生に向けたSDGs12の「つかう責任」を実践できる事業として紙容器の回収の説明を実施。
- ・市民向け事業として浜松市の「協働のタネ」冊子に掲載し、一緒に行動してくれる行政・企業や市民活動団体を募集。
- ・市内イベント会場にて、パネル展示やチラシの配布を行うことで市民への周知を実施。
- ・清掃工場やNPOのWebサイトに情報掲載することで啓発を実施。また、日々の活動の様子をfacebookに掲載し、周知。
- ・テレビ、ラジオ、新聞等のマスコミによる啓発活動を実施。

**◆波及効果・地域密着性**

- ・同事業は、市民が分かりやすく燃えるごみを減らす行動体験が可能であり、SDGs12の「つくる責任 つかう責任」を市民が正しく理解するきっかけとなる為、小学校をはじめ地元金融機関・大学・企業による参加型の活動となっている。
- ・ある地元企業では、企業内での社員教育が各家庭に波及し、その後、さらに地域社会活動へ波及していくことを狙いとするステップ方式に挑戦している。

**◆活動実績（右表に記載のとおり）**

表. 活動実績の比較 (2021年度 vs 2022年度)

	2021年度	2022年度	前年度比
紙製容器総収集量	245.3kg	308.3kg	126%
紙コップ個数換算(6.6g/紙コップ1個)	37167個	46712個	—
指定外品重量(アルミ付容器、食品容器)	10.7kg	12.6kg	118%
指定外/総収集量 比率	4.4%	4.1%	—
収集参加人数	約5000名	約6500名	130%
えこはま訪問小学校数(小学4年生)	63校	61校	—
収集ボックス設置箇所	7か所	10か所	143%
収集参加団体数	7団体	10団体	143%
広報活動(イベント、新聞、ラジオ等)件数	13件	9件	—